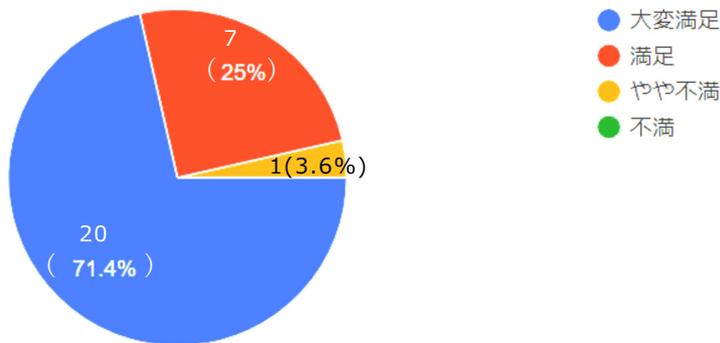


2024年教育カウンセリング・オンライン研修講座 参加者感想アンケートまとめ

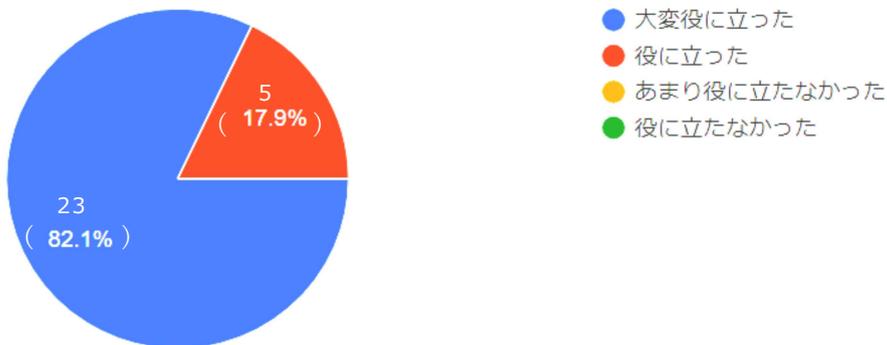
秋田県教育カウンセラー協会

2024年1月21日（日） 13:30～16:30
「愛着障害の支援の実際と支援体制のあり方」
講師：米澤 好史（和歌山大学教育学部 教授）

① 研修講座全般について（回答数28名分）



② 研修講座の内容について（回答数28名分）



③ 研修講座の内容についての感想

※ 米澤先生の講座はいつも新たな発見，気づきがあり大変勉強になります。今回は支援の仕方にお話の重点を置いていただいたということで，愛情の器モデルに基づいた支援についてより理解が深まりました。その中でも特に感情のラベリング支援についてのお話で自分の中での発見が多かったです。またお話を伺う機会があれば嬉しいです。

※ 米澤先生，貴重なご講演ありがとうございました。
先日，愛着の課題がとてまたくさんあると思われる母子とサンドプレイをしました。箱庭療法などとおこまがしいので，自己治癒力，癒し程度の活動と思っていました。
今日の先生の「感情のラベリング」のお話大変胸に落ちました。玩具を前にして，児童と母が同じことに気づいて同じことを感じる，同じ言い方，同じトーン，同じ言葉で感情を表現している姿に出会いました。

母子ともに「楽しかった」との感想でした。

目の前で起きていた活動の裏づけをしていただけた気がして、嬉しかったです。

自信をもってしばらく続けてみようと思います。

貴重な機会を与えていただいた、秋田県教育カウンセラー協会様、感謝です。ありがとうございました。

- ※ 米澤好史先生，大変わかりやすく，しかも，しっかりとした柱立てで，詳しく学ぶことができました。3時間あっという間でした。もっと，後半の部分も，今後学びたいと思います。

私は，33年間公立中学校の教諭をやり，現在，過去に不登校や特別支援学級に所属していた高校生の通信制の私立高校に勤務しています。中学校では，生徒指導困難校に長く務めた経験から，こうすればよかったと思う反面，愛着障害をより学ぶことで，中学校の生徒対応がより効果的に進められると思いました。また，通信制の高校では，不登校だったため，小学校の算数からもう一度始めたり，コミュニケーションを含めかわりをもつ機会を増やしたりしています。職を変えたばかりですが，3つの基地，4つのポイント，3つのタイプ，6つの対応などを十分に参考にして活用していきたいと思いました。

関係性や感情発達の障害としてとらえることで，本人自身の課題や問題が浮き彫りになり，我々教師側の関わり方やもっていき方などがわかってきました。そして，職場に還元して対応していけると感じました。

今回2度目の受講でした。やはり1度目よりもわかる範囲が増えてきて，本を購読するとともに，この米澤先生の研修がより行われることを期待いたします。本日は，米澤先生，秋田県教育カウンセラー協会の皆様，どうもありがとうございました。

- ※ この講義は生涯学習にかかわるとても重要な情報であると考えます。2月に子育て支援センターの支援員養成講座において一コマ虐待の講義を担当することになっていますが，米澤先生の今までの講義での学びがなければとうていその任に堪えることができなかったと思います。本日の講義の中で，あらためてそうだよなと確認できたのが冒頭の○×クイズです。そして，親がしっかりかかわっていても，そのかわりが子どもに合わないと起こるのだということ。これは悩み苦しんでいる保護者と面談するさいに保護者への救いの言葉となります。子どもたちと面談する中でも，気持ちを言い表せない子どもたちがほとんど。その時に，こんな気持ちだったんじゃない，こんな言葉は当たってる？と様々な表現を探す作業の中で子どもたちの表情が変化していきます。

こういう関わりは傾聴というSC（スクールカウンセラー）の中心的な作業の中に愛着形成という重要な視点を与えてくださったと本当に感謝でいっぱいです。これからもまた学びを深めてまいりたいと存じます。

また是非米澤先生の生の声でのお話をお聞かせ下さい。

事務局の先生方本当にありがとうございます。今年1年共に学びあってまいりましょう。
拝

- ※ 兵庫県の公立小学校で通級指導を担当しております。
今日は，とてもよく分かるお話をありがとうございました。
日々，教室で直面する子どもの行動の意味が分かった気がしました。
応用行動分析の「減らしたい行動は無視する」という対応が，なぜうまくいかないのかも，理解できました。
（例として）小さな子の面倒を見る「役割付与支援」が，今日の一番の学びです。
気になる子の得意なことを見極め，大人が主導権を握りながら先手支援をしていくことが分かりました。
また，明日から頑張るエネルギーをたくさんいただきました。
今日は，本当にありがとうございました。

- ※ 著書を読ませていただいていたが，やはり直接お話をお伺いすることができて大変参考になりました。他の方の質疑応答からも学ぶことが多かったです。

- ※ 米澤先生のご講義は何度聞いても新たな気づきと学びを得ることができます。かなりボリュームのある内容でしたが、時間があっという間に感じられました。資料の最後の方の内容もぜひお聞きしたかったので、残念です。今回の先生のお話で特に印象に残ったことが、「先手」に関わる支援の重要性です。自分がしてきたことは、多く「後手」の支援だったのではないかと反省させられました。支援の仕方もかなり具体的で踏み込んだ方法を教えていただけましたので、ぜひ実践に生かしたいと思います。
- ※ 今回も米澤先生のお話は心に刺さる内容が多く、自分のこれまでの行動を振り返りながら学ぶ時間となりました。特に今回お話にありました「先手でかかわる支援」や「役割付与支援」は保育現場でも多くの事例の対応に役立つと感じました。私の見てきた保育現場においては、愛着障害についての認識がまだまだ浸透していないと感じています。今後は発達障害と合わせてその理解が子どもに関わる多くの人達にもっと広がると良いなと思います。今回も貴重な学びの機会を下さりありがとうございました。
- ※ 子どもの指導で悩んでいた時、先生の「愛着障害」に係る書籍に出会いました。本を読みながら納得できる場所が多くあり、もっと詳しく聞いてみたいと思い本研修に参加しました。実際にお話を聞いて愛着障害について理解が深まりましたし、具体的なかかわり方についてよくわかりました。ぜひ、また参加したいです。
- ※ 基本から教えて頂き、振り返りながら、著書で読んで思い込みで理解していた部分もある事を事例の紹介などで違う角度から理解する事が出来ました。
- ※ 具体的な支援について教えていただき大変参考となりました。
- ※ いろいろ事例を元に講義をしていただきました。
- ※ 私が常に学びを深めたいと思っていたテーマでした。米澤先生のお話で、いままでわからなかったことの殆どが明確になりました。それは、ジグソーパズルのピースが次々とハマっていくような感覚で、とても心地よいものでした。発達障害と愛着障害の両面を考慮した感情に働きかける支援をしていきたいと思います。
貴重なお話をたいへんありがとうございました。
- ※ 大変学びのある研修でした。ありがとうございました。
- ※ とても参考になりました。まだ聞きたいことがあったので、また機会がほしいです。
- ※ 米澤先生の書籍も拝見しましたが、実際に先生からのお話をお聞きすることで、より理解が深まりました。質問にも優しく丁寧に、具体的にお答えいただき有り難く存じます。
研修の中にもあったように、愛着の支援はすぐに効果がでるものでなく、かかわる人が挫折してしまいそうになるのは非常に多いと思うので、またこういった研修に参加し、支援の振り返りや見直し、アップデートの機会を持つことが大切だと感じました。
本当に有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ※ 4回目の講演でしたが、今回は内容が整理されており、支援する側に立ったお話で、さらに充実した内容だったと思います。途中でお話が終わったのはきっと、米澤先生の著書を読んで自己研修しなさいということなんだなと思い、さっそく著書を拝読したいと思いました。パッションあふれる講話に、元気をいただきました。
- ※ 米澤先生は本当にすごいですね。濃い内容をわかりやすく伝えてくれます。常に現場に寄り添っている温かさが伝わってきます。とても勉強になるけど、それだけでなく、こちらにも励まされ、元気になります。

※ 米澤先生の著書はいくつか拝見させて頂いておりますが、直接、講義拝聴出来た事、そして本の中ではつかみきれなかった点について丁寧にご説明賜り大変ありがたかったです。

スクールカウンセラーとして難しいケースに対峙する場面も多く悩んでいましたが、先生の温かい笑顔とお人柄に触れ、癒され、そして勇気を貰いました。

愛着に問題を抱える生徒への対応を学校で取り組む際、先生達のモチベーションをどのように一致させていくか…その点が難しいと感じております。また機会があれば研修に参加し勉強して参りたいと思います。

※ 貴重なお話を拝聴できありがたく存じます。私が現場にいた頃は、愛着関係は親、特に母親との関係でしかできないと言われていました。その頃は半信半疑でしたが、お話を聴いて完全に払拭することができ、あの頃の自分の考えで良かったのだと改めて感じました。そして、大人との信頼関係や人権とのかかわりもあるのではないかと感じました。大事なお話が満載で消化不良気味です。機会があったらまたお話を拝聴したいと思います。本も読んでみたいと思います。ありがとうございました。

※ 内容が濃く大変勉強になりました。後半の資料の内容を知りたいです。

※ 学び多くあっという間に感じられた3時間でしたが資料の書き込み部分が多く、講義に集中するのが難しかったです。それと、時間内に聞くことが出来なかった部分につきまして、書き込み部分は教えて頂けるのでしょうか？

〈事務局より〉本会で初めて米澤先生をお招きした時から、参加された方からのそのようなお声を頂戴しております。

米澤先生からは、ご説明せずに解答だけをお伝えし、曲解されることがあったりしたため、お断りさせていただいていることを伺っております。

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

※ 何度拝聴しても、勉強になります。書籍も拝読していますが、研修会で復習させていただいている状態です。ありがとうございます。

※ 毎回、内容は大きく変わることはありませんが、聴くたびに米澤先生の御講義から学ぶことがあります。

面接相談しているケースと照らし合わせ、業務に役立たせています。

※ 米澤先生のご講演に毎年参加させていただいて、回を重ねる毎に自分の内容理解力が高まり、愛着障害について考察する力が蓄積されたように感じられました。米澤先生の、常に実践の中から導き出される普遍的理論は、どこをとっても腑に落ちるものであり、真理と捉えます。それは先生が、子どもたちへの溢れるような愛情から実践されているために導き出されたのであり、事例と考察から築き上げられたものをさらに実践に繋げていくことで、より確かな生きる支援となっているのだと学ばせていただきました。先生と出会えた子どもたちは幸せだと思います。今回、ポイントに添った事例もたくさん紹介していただき、とてもイメージがしやすかったです。また、支援の仕方についても、かける言葉や動作など細部にまで大切なことを伝えていただきましたので、すぐにも役立つことばかりでした。まだまだ一番の壁は同僚の教師…ということは多いですが、くじけずに、ここで学んだことを少しでも、愛着の問題を抱えて困っているお子さんやご家族のために生かせるよう、心掛けていきます。本当に有り難うございました。

※ 具体的支援方法をもう少しお聞きしたかったです。

※ 発達障害と愛着障害の見分け方のポイントや愛情の器モデルの進め方の方針等がよくわかりました。事例のお子さんの例も具体的だったのですが、対応の方策はよくわかりましたが、具体的な中身についてはまたの機会ということなのでしょう。ぜひ続きを

伺いたいと思いましたが、もし機会があれば、次回は、ケースレポート的な内容を元それに解説を加えると言う形の講座考えられるのかなと思いましたが。この続きの話をぜひとも伺いたいなあと思いましたが。ありがとうございました。

◆オンライン開催に関するご意見やご要望について

※ いつも深い学びの時間を提供して頂き心から感謝しております。このような機会を頂く度に、普段お会いできない先生や皆様のお話を聞く事ができるというオンライン研修の素晴らしさを感じます。今回も開催して下さい本当にありがとうございました。

※ オンラインはその時間だけ確保できれば参加できるので、継続したいです。全国からの参加者も集まるので、刺激を受けられます。

※ 広範囲の方々からも参加ができてとても良いと思います。

※ オンラインにさせていただくことで参加できました。ありがとうございました。

※ オンラインだからこそできた、長野県からの参加でした。対面参加では到底不可能です。ありがたいです。

※ オンラインで開催していただいたお陰で県外から参加をすることができたので大変有り難かったです。ありがとうございました。

※ オンラインにすることで、居住地に関わらず参加することができたので、大変感謝しております。

※ オンライン開催ということで遠方からも参加することができ、いつも助かっています。お忙しい中、準備運営をしてくださりありがとうございます。

※ 準備等本当にありがとうございます。感謝です。

※ 主人が自宅療養をしているため、オンラインでの研修は本当にありがたく存じます。また、今回は研修費を勉強していただき、感謝感謝です。ありがとうございました。

〈事務局より〉こちらこそ、ありがとうございました。今回は4回目の研修講座ということで、2021年5月8日または2023年1月21日の講座にご参加いただいた皆様に感謝の気持ちをこめまして、割引クーポンを発行させていただき、20名の方にご活用いただいております。今後も、皆様に喜んでいただけるような企画を準備してまいります。

※ 大変よかったですので、ぜひ、また開催してほしいです。

※ オンラインで助かりました。今後も何かあれば、知りたいです。

※ とても充実した時間をいただきました。ありがとうございました。

※ オンライン開催により、私のような者でも参加できますので、心から感謝いたしております。お陰様で、とても貴重な自己研修の場となっております。今回、諸般の事情から事務局様へ大変なご迷惑をお掛けしてしまいました。その都度、丁寧に対応していただき、有り難うございました。受講してよかったです。感謝申し上げます。

※ 企画をしてくださった事務局の皆さんに感謝いたします。県内外からの参加者が集まることは、オンライン研修が効果的である証だと思います。私はぎりぎり参加でお手伝いできませんでした。すみませんでした！次回はお手伝いさせていただきます。

※ ほにほに感謝です。

〈事務局より〉こちらこそ、ほにほに感謝であります。「ほにほに」は「本当に」という意味で、岩手の方言のようです。響きがかわいいですね。お隣の県ですが初めて知りました。

※ 内容が濃いので、全体の講義時間を伸ばして、休憩回数をもう少し増やして、頭を整理する時間が欲しいと思いました。

※ 米澤先生のスライドは、1スライドの情報量が多く文字が小さいです。配付資料はPDFで構いませんので、1ページに4スライド固定ではなく、受講者側が選択できるようにしていただけると助かります。

※ 最後まで聞いてみたいと思った。

※ 最後の質疑応答の時間がもう少し多く取ればよかったと思いました。

※ 事務局の皆様、貴重な研修を企画して下さいありがとうございました。

◇今後受講したい講座のテーマや講師について

※ 今回の続編を希望します。「支援成功のコツ」等資料の続きについてお話を伺いたいと思いました。本だけではわからない米澤先生の思いが伝わってきます。

※ 資料の後半にあるような実践的な支援の内容を学びたいです。より細かい内容が知りたいです。愛着に困り感がある子どもの成長について見通しを持てるようになりたいです。

※ ぜひ、また、米澤先生のご講演を希望します。

※ ぜひ、また米澤先生の研修会を行ってください。

※ 米澤先生の継続のご講演をぜひお願いいたします。

※ 今日の講演の後半部分を聞きたいです。

※ 米澤先生の継続のご講演をぜひお願いいたします。

※ 続きをぜひ学んでみたいと思いました。

※ 私に関心をおいているテーマでした。また米澤先生のお話が、とてもわかりやすかったので、愛着障害と発達障害について多くを学ぶことができました。米澤先生のお話が聴ける研修会が今後もあれば、是非参加させていただきたいです。

※ 米澤先生の本日の講演について、続きをお聞きしたいです。また、ゲーム依存などの依存症や、オーバードーズ、リストカットなど自傷行為について。

※ 不登校関係

- ※ 1. 様々な特性をもった生徒が、高校卒業後の進路で、活路を開くための、社会的な制度や受け皿の状態、カウンセラーとしての心構えなど
- 2. 不登校・いじめを増やさないための教育や学校の変革についてなど

※ コミュニケーション障害（自称も含めた）

※ ソリューションフォーカスドアプローチや、認知行動療法など、スクールカウンセリングに活用できる心理療法について学ぶ機会があればうれしいです。

※ できれば、ポリヴェーガル理論の花丘ちぐさ先生（公認心理師，専門健康心理士，ソマティック・エクスペリエンシング・プラクティショナー）のお話が聴きたいです。

ポリヴェーガル理論とは，1994年にアメリカの神経生理学者であるステファン・W・ポージェス博士が発表した理論です。心や体の状態を，人間の体にある3つの自律神経系の働きから説明することができ，トラウマを体験した人の療法を行う分野で注目されています。

（NHK みんなでプラス「神経生理学で読み解く 性暴力被害の“凍りつき”＜解説＞」より抜粋）

※ 教育カウンセリングという範囲から少し外れるかもしれませんが，今気になっているのが，高校や大学までは適応して（したつもりで）卒業したり就職したりしたあとで，適応できなくなりひきこもったり病気になったりした人たちです。中学高校で表面化する分には多くの大人が対応できるし，本人の回復や乗り越え，親の受容も早いと感じます。不登校や自傷は困ったことと思わず，今表現できてよかったねと思えます。大人になってからだと本人が動かないあるいは本人が動こうとしても同居の親が困り込んでしまうと，何にもつながらないまま十年単位で過ぎてしまいます。教育カウンセリングとして学校現場でやれることとしては，学校時代に大きな問題が表面化しない（でも何かを抱えているかもしれない）多くの子どもたちへの予防的なかかわり，ということになれば，やはりS G Eに戻るのかなとも思いました。

—— アンケートにご協力をいただきまして，誠にありがとうございました。

